

第2回 これからのコミュニティ施策の基本的考え方多摩区区域レベル取組検討会結果概要

- 1 日 時 平成31年4月21日（日） 午後2時～4時
- 2 会 場 多摩区役所6階601会議室
- 3 出席者 委員17人、区役所職員3名
- 4 資 料 別添のとおり
- 5 結果の概要と出席者の主な意見

【これまでの振り返り】

- 検討会の位置付けについて確認した。
- 第1回検討会の振り返りを行った。
- 議論のルールについて、根拠と論拠に基づく主張を行うこと、全面合意でなくてもなるべく多くの面で合意することなどが確認された。
- 3月の準備会での合意事項と第1回検討会の確認事項をベースとしてこれからの審議をスタートすることが確認された。

【ソーシャルデザインセンター（SDC）の理念を共有する】

- まず多摩区の課題は何かという話をして、その課題に対してどうしたらいいか話した方がいいのではないか。
- 多摩区の課題は、敢えて出さなくても分かっているのではないか。
- この検討会では、実際にSDCを運営する人に対し、こういう課題があるからこれをやってください、と言うようにするために検討するのではないか。
- スモールスタートで、これだけはやってほしいというものをいれて、SDCをやる人にきちんと押さえてもらえばよいのではないか。
- 理念を共有する前に、課題がたくさんあって、それを共有することで最終的には理念が出てくると思う。
- SDCを開設する検討会ではないのか。団体の課題の共有よりも、SDCの議論をすべきではないか。
- 課題の共有は、そんなに時間もかからないので、言語化で共有したほうがよいのでは。
- 基本的考え方の議論は数年に渡り行われてきており、2月には多摩区のワークショップもあり、この検討会では具体的な内容について話すのではないのか。また2月の議論に戻るのか。
- ワークショップでの議論は行ってきたが、市民側から提案して合意してきている事実はない。
- 団体の活動を行う中での課題出しを行った。
 - ・ 宣伝、資金調達、人材教育、団体同士の連携
 - ・ 場所
 - ・ 情報（他区や他地域では何をしているか）
 - ・ 人材不足
 - ・ つながり（子育て団体、他団体、世代間など）
 - ・ 地域活動の関心分野は、趣味や余暇を活かした活動が多い

- ・資金や人材について、持っている人と必要としている人がつながっていない
- 10年後の多摩区の理想の姿について意見出しを行った。
 - ・バラバラが繋がる
 - ・住みやすいまち
 - ・他地域から引っ越して来たくなるまち
 - ・健康長寿のまち
 - ・多様な主体と多世代が繋がる支えあいのまち（多様な主体とは、例えば既存の活動団体、町会連合会、民生委員児童委員等）
- この施策自体は、市民創発が原点にあり、市民が出会って議論する中で何を生み出すが問われている施策である。私たちが自分で考え、自分の言葉で自分たちを動かすような多摩区をつくりましょうというベースがあってやること。一つ一つ確認して合意をもって文言にしていく必要がある。
- SDCのイメージが統一されていない。まとまっていない中で具体的な方向性を出すのは早いか、間違っているのではないか。
- 予算は大事で、そのための時期を考えなくてはならない。戻るのではなく、今出されていることに対して、どういう形でやってみるかを検討する必要がある。

【具体的な取組内容について】

- 方法論の説明は、検討項目で言うと運営に関するものと理解する。
- 基本的機能⑤に、「地域の担い手や社会企業家などを育成する」とあるが、「発掘」もするということでしょうか。
- 基本的機能⑥について、「まちのひろば」は、すでにあるコミュニティ機能を持ったひろばとこれから作るものを含むということでしょうか。
- 基本的機能の9項目に対して、本会議中に抽出できた皆さんが困っている事柄を当てはめて、解決できるところを確認していけば前に進むことができる。時間軸を見ながら進めないと、これまでの会議で決定された7月初旬の中間報告に到達できない。9項目の具体化について次回以降前向きに議論していきたい。
- ◎ ゴールにたどり着くまでの方法論として、何かをやる前にはなぜそれをやるのかと事後の評価システムを共有する必要があること、ノウハウを保全すること、チームワークを共有し自分の強みを生かすこと、結果についても共有する必要があることについて確認した。
- ◎ 次回検討会の司会進行をする委員を決定した。
- ◎ 理念（1つ）と、基本的機能を踏まえた具体的な取組について次回までの宿題とする。
- ◎ 理念について次回議論する。何項目とするかは議論の中で決定する。

—次回検討会の日時等について—

- ⇒ 次回は、5月10日（金）午後7時から開催する。